

ト、デュアルセンサーブレーキサポート、後退時ブレーキサポート、誤覚追進抑制機能および前方誤覚追進抑制機能は運転者による安全運転をサポートし、衝突を回避したり衝突時の被害を軽減したりすることを目的としていますが、その検知・制御性能には限界がある条件によっては、作動しない可能性があります。これらに陥った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。●デュアルセンサーブレーキサポートは走行時ににおいて、ステレオカメラが前方の車両や歩行人（以下「車両等」）を検知し、前方衝突警報機能、前方衝突軽減ブレーキアシスト機能、自動ブレーキ機能で衝突の回避または衝突時の被害軽減を図る安全技術です。自動ブレーキ機能走行時（約5km/h～約100km/h）、前方の車両等との衝突が避けられないと判断した場合、自動的に強いブレーキをかけることで、を図る機能です。●デュアルセンサーブレーキサポートは走行時ににおいて、単眼カメラとレーダーレーダーの2種類のセンサーが前方の車両や歩行人（以下「車両等」）を検知し、前方衝突警報機能、前方衝突軽減ブレーキアシスト機能、自動ブレーキ機能でを図る安全技術です。自動ブレーキ機能走行時（約5km/h～約100km/h）[対象が歩行者の場合は約5km/h～約60km/h]、前方の車両等との衝突が避けられないと判断した場合、自動的に強いブレーキをかけることで、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図る機能です。●誤覚追進抑制機能：シフト位置がD・M・L・S（モード含む）の位置で停車または徐行中の（約10km/h以下）、前方約4m以内に障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合、●後退時ブレーキサポート：約10km/h以下で後退中、前方約3m以内までは衝突が避けられないと判断した場合、●後方誤覚追進抑制機能：停車または約10km/h以下で後退中、前方約3m以内に障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合、●詳しくは販売会社にお問い合わせください。

と試験条件での値です。お客様の使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）に応じて燃料消費率は異なります。

郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。WLTC =Worldwide-harmonized Light vehicles Test Cycle